電機連合けんこう共済診療状況申告書



※請求者または被共済者ご自身でご記入ください。

本請求の内容は、事実と相違ありません。

※診断書を提出されていない医療機関での治療内容をご記入ください。
※黒のボールペンをご使用ください。(鉛筆・フリクションペンは不可)
※□のいずれかに該当するものに☑をしてください。

			記入日:20	年	月	日
	フリ					
被共済者 (補償対象となる方)	氏	名				

傷病名(ケガの診断名)	``)(才 可側)												事(受			日(三)	20		年	Ē	月		日		午前 午後			時		分		
	[] 剪	Į	[一彦	Į			Į.	[] į	Ė	[二首	Î		胸	·腹		背.	腰		・ の腕		一身	†		前	宛		手首		
ケガの部位	□ (甲・平) □ 手指 □ 臀音				·· 部		股太		[\$	† 	下	腿	 	足	 首		・裏	_ L] 足	指		全:	身	>							
ケガの状態	□切り傷・すり傷 □挫傷・打撲 □ □切断または欠損 □その他 (ん帯・腱・筋肉の損傷または断裂)										
手 術	①正式 左 右 手術名 両側										手術日	20 年					月 日					京数表の (一ド 合に、ご記えください)											
□無 □有	②正式 左 石 手術名							手 術 20 年 月 日										診療報酬点数表の 手術コード 療機関へ確認できる場合にご記入ぐ合い															
												→ 入院された時間帯を○で										最終通院日時点の状況											
	(1	① 20 年 月					1		日	午	前	前(午後) ~ 20)		年		F			20 年 月 日(最終通院日時点)											
入 院																					□治療 □現在加療中(経過観察含む)												
	② 20 年 月									日	午	前	午往	发	~	20)	年]転防	ť 🗆								
医療機関①									医療	機関	2						医排	療機	関③			医療機関④											
受診した 医療機関名																																	
と電話番号																																	
下のカレンダーの								ー ー ー ×印でご記入ください。								_											-						
記入記号	○印でご記入ください。										_				_							くださ				니티	でこ	記)	くださ	Z () °			
通院治療を受けた				т —	Т		_	т —	をやま 7	多团· 8				、冶 12	療を 13		なり 15	16	ょ連門 17	元目(18	こ含。 19	みませ 20 2		23	24	25	26	27	28 2	9 3	0 31		
20 年 20 年		月 <u></u> 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		13		15	16	17	18	19	20 2	_	_	24	25	26			9 3	$\overline{}$		
20 年		<u>/1</u> 月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			13		15	16	17	18	19	20 2		_	24	25	26	27		9 3	_		
20 年		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13		15	16	17	18	19	20 2		_	24	25	26	27	28 2	9 3	$\overline{}$		
20 年		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20 2	1 22	23	24	25	26	27	28 2	9 3	0 31		
20 年		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20 2	1 22	23	24	25	26	27	28 2	9 3	0 31		
20 年		月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20 2	1 22	23	24	25	26	27	28 2	9 3	0 31		
ギプス等の固定具	医師等の指示による 固定具装着期間									固定具の種類 固定具の説明は裏面に記載しています。										腕(肩から手首まで)またに (足の付け根から足首まで 全部または一部の固定有 ※包帯のみ巻かれている部分 含まずにお答えください。					(m)の 胸部または 腹部の 腹部の				骨ま 節の 固定す	上下の			
使用の有無		20		年	F	1	日z	から	_						_	ーネ	_		シャー	・レ													
(装具・サポーター 等の脱着が容易な ものは含みません)		20		年		1		まで		□副子 □創外固定器 □三内式シーネ □PTBキャスト □PTBブレース □その他()									□無 □有				□無□有]無 [□有				
しいは百みません)		20				,			:	ギプン	τ [ギプ	スシー	-ネ []シ・	ーネ		デプス:	シャー	-レ													
□無□有	2		20 年					日から		□副子 □創外固定器 □三内式シーネ□PTBキャスト □PTBブレース□無 □有							有						無[□有									
		20		年	<u>}</u>	1	日 :	まで		その作		- · · ·	1	. 1))													
既往歴が有る場合	計にこ	- ご記 <i>入</i>	くた	ぎさい	ر, ٰ 5	記)	しがれ	ないは	易合(はそ	ー れぞ	れの	項目	につ	いて	[無	し」	として	て取技	及しい	いた	します	,										
既往症		傷病名							医療機関名											治療期間													
(持病)																						1	年	月	Ηt	頁~		年	月		日頃		

重要 ご提出前に必ずお読みください。

手術・入院給付金を請求する場合は、手術名および入院期間が記載された領収書・診療明細書(A4片面コピー)を添付してください

- ・診療状況申告書にて、通院給付金のみを請求する場合は、領収書・診療明細書の提出は不要ですが、請求内容により、別途提出をお願いすることがございます。領収書および診療明細書は給付金のお支払いが完了するまでお手元に保管ください。
- ・添付いただく領収書・診療明細書等に健康保険等の保険者番号および被保険者記号・番号の記載がある場合は、記号・番号が読み取れないようマスキング (復元できないように黒く塗りつぶし) してください。
- ・この診療状況申告書は診断書を省略する場合に、医師の診断書に代えるものです。請求内容によっては、<u>けんこう共済所定の診断書のご提出をお願いする場合がございます。</u>

7

〈記入例〉

- ・"ケガ"の場合のみご使用ください。病気でのご請求は、"病気用"の診療状況申告書をご使用ください。
- ・黒のボールペンをご使用ください。(鉛筆・フリクションペンは不可)
- ・ご記入内容を訂正する場合は、二重線を引き、お書き直しください。
- ①基本契約者ではなく、補 償の対象となる方(被共 済者)の氏名をご記入く ださい。
- ②医師に診断された正式 な傷病名を必ずご記入 ください。ご不明な場合 は医療機関へご確認く ださい。
- ③医療機関発行の診療明 細書に記載された手術 名をご記入ください。
- ④手術、入院給付金を請求 する場合は、領収書およ び診療明細書(A4片面 コピー)を添付してくだ さい。
- ⑤5か所以上の医療機関で 治療された場合は、別紙 にご記入のうえ添付して ください。
- ⑥・治療処置を伴わない薬剤・治療材料の購入、受取りのみの場合は、通院には該当せず、お支払いの対象とはなりません。
 - ・1日に2か所以上の医療機関に通院された場合は1日分としてのお支払いとなります。



⑦ギプス等の固定具の使用有無について

- ・「入浴中のみ取り外す」等の状態は常時装着に含みます。
- ・固定具の種類
 - (1) ギプス: 受傷部の周囲 360 度を覆い固定する硬質(もしくは石膏) の器具。
 - (2) ギプスシーネ:ギプス固定の後、ギプスの一部をカットして副子として使用するもの。
 - (3) ギプスシャーレ:ギプス固定の後、ギプスの一部をカットして副子として使用するもの。
 - (4) シーネ (副子・副木): 受傷部の一側に当て、包帯等で巻いて固定する器具。
- ・固定部位の腕とは、肩から手首までをいい、脚とは足の付け根から足首までをいいます。
- ・装着された固定具ごとに、装着期間、固定具の種類、固定部位をご記入ください。また3つ以上の固定具を使用していた場合は、別紙にご記入のうえ添付してください。